



一般社団法人

千葉県

作業療法士会

ニ ュ ー ス

特集

千葉県作業療法士学会開催報告
令和5年度臨時総会開催報告
各部署活動報告



発行責任者：坂田祥子
編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会
発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局
発行：2024年 5月 <http://www.chiba-ot.ne.jp>
〒266-0031
千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2階
TEL 080-3317-7864

巻頭言

令和 6 年度県士会活動開始のご挨拶

一般社団法人千葉県作業療法士会
会長 坂田 祥子

皆様の日頃の千葉県作業療法士会（以下、県士会）活動へのご協力に感謝申し上げます。

新年度となり新しい職場で業務を開始した方、新しい職員を迎えた方、皆さんそれぞれの新年度を迎えたことと存じます。

前年度の活動にはなりますが、3月3日に第25回千葉県作業療法士学会が千葉県立保健医療大学を会場に開催され、多田賢五学会長のもと学会運営やボランティアの方を含め300名を超える皆さんの集いとなりました。寺山久美子先生の基調講演では、「新興医療職・作業療法士職の土台作り」となった日本作業療法士協会活動の“苦しく・楽しく・挑戦の経験”を伺い、諸先輩方の活動の上に「この国の作業療法のかたち」があることをあらためて実感し心引き締まる思いが致しました。まさに学会テーマ「原点回帰～作業療法の専門性を未来へ」のもとで会場の皆さんと心ひとつにできた時間であったと思います。本学会は2020年3月以来の対面開催となり、沢山の演題発表で作業療法実践を語り合い、オンラインの画面上でしかお会いできていなかった方と近況を報告し合ったり県士会活動について相談したり、やはり対面はうれしい気持ちを何倍にもしてやる気を掻き

立てる！と感じました。企画・運営してくださった東総ブロックの皆さんと学会委員会の皆さんに改めて感謝申し上げます。さて、3月17日には令和5年度臨時総会が開催され、司法作業療法特設委員会と地域連携部に運転支援検討委員会を加えた新しい組織体制と令和6年度の活動計画および予算が承認されました。新たな組織体制のもとより地域に密着した活動とするために市町村ごとに担当者を配置していこうという動きが始まっています。できることから始め、千葉県に根差した当士会にあった形をつくり上げていきたいと考えています。

このように県士会活動は拡大の一途であります。私たちの活動も予算も無限ではありません。今後はどんな活動をすべきなのか方向性を見定め、県士会運営の効率化が求められていくこととなります。そのためには皆さんの声が重要です。会員一人一人にとって役に立つ、そして県民の保健・医療・福祉の向上に貢献する県士会は私たち自身がつくり上げるものです。会員の皆様のご意見とお力を県士会にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

臨床実習指導者講習会委員会からのお知らせ 令和 6 年度臨床実習指導者講習会の日程変更について

平素より当委員会の活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

「一般社団法人 千葉県作業療法士会ニュース 2024.3月号 Vol.87」の記事内「臨床実習指導者講習会委員会からのお知らせ」で令和6年度の臨床実習指導者講習の日程をご案内いたしました。

ニュースでは3回の開催予定でご案内いたしましたが、下記の通り2回開催と変更させて頂くこととなりました。中止となった日程で今年度の受講を検討いただいていた皆様には深くお詫び申し上げます。

今回開催回数を減らした理由としましては、令和5年度は定員に対して受講者数が満たない事が続いたためです。運営費用等が適切であるか鑑みた結果、令和6年度は2回開催とさせて頂くこととなりました。

なお、これまで同様県内における臨床実習指導者の養成については今後も継続的に講習会を開催してまいりますので、受講要件を満たした方はご受講を頂きたく存じます。

ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 6 年度の開催日程変更について

修正前	修正後
2024年6月8-9日	2024年6月8-9日（申込期間：4月6日～20日）
2024年9月7-8日	2024年9月7-8日（申込期間：7月6日～20日）
2025年1月25-26日	中止

令和 5 年度の臨床実習し売者講習会の受講者数の実績

第1回	62名	第2回	26名	第3回	20名	第4回	17名
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

今年度の会費自動引き落としの時期について

2024年度（令和6年度）会費引き落としは6月5日（水）を予定しております。
引き落とし額は8,165円です（年会費8,000円+引き落とし手数料165円）。
残高不足の場合は未納となりますので、口座残高のご確認をお願いいたします。

自動引き落としを利用していない場合について

2024年度（令和6年度）7月1日（月）までに年会費8,000円を下記口座にお振込みください。
振り込み手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

※当士会では年会費の自動引き落としを推奨しております。口座振替依頼書を郵送いたしますので、
県士会ホームページお問い合わせフォームより、会員番号、氏名、送付先郵便番号、住所をお知らせください

新入会の場合

2024年度（令和6年度）より新規入会申し込みの方は、9,000円
（入会金1,000円+年会費8,000円）を下記口座までお振込みください。
入会詳細は、右記QRよりご確認ください。



振込口座：千葉銀行 蘇我支店 普通預金 3827235
一般社団法人千葉県作業療法士会 代表理事 坂田祥子（サカタ サチコ）

福利厚生部部員募集!!

- 【 会 議 】 年4回程度（オンライン含む）
- 【主な活動内容】 オリエンテーションの企画運営
研修会等における託児事業
その他
- 【募 集 人 数】 3～4名



- 【福利厚生部より】 欠員の為、福利厚生部員を募集いたします！
会員活動内容のその他の部分に関しては、会員の声を聴き、交流会や職場見学会など会員のニーズに合わせて企画を立ち上げることができます（予算との相談は忘れずに...）。こんな企画があるといいのにな。そんな想いを実現させるには福利厚生部。お手伝いならできるかも。
充実した活動の為、ぜひご協力頂けると嬉しいです。
どうぞよろしくごお願いいたします。

- 【 連 絡 先 】 cbot7864@yahoo.co.jp
※件名に福利厚生部部員募集についてとお書き添えください。



2023 年度学生奨励賞の授賞をおこないました

当士会では、表彰規程に則り、令和5年度「一般社団法人千葉県作業療法士会 奨励賞」の表彰を行いました。「奨励賞」は、県内養成校の学生（卒業年次）を対象に、士会への入会と養成への士気を高揚し、県内作業療法の発展に寄与することを目的としています。

推薦要件は、在学中に学業等に優秀な成績を修め、かつ、a. 当士会主催の学会や学生対象イベント等に積極的に参加した者、b. 千葉県内に就職を予定している者（ab どちらか、または両方を満たす者）として、県内養成校7校から各1名を推薦いただきました。

「奨励賞」を受賞された方々をはじめ、新入会頂く皆様には、若い力と発想で当士会に新しい風を吹き込んでいただけないかと思っております。受賞者の皆様のご活躍を期待しています。

八千代リハビリテーション学院

小玉 優里香 さん

この度は、奨励賞をいただく事ができ嬉しく思います。学院で先生方から教わった事、臨床実習での経験や指導者の方、患者様から教わった事を活かして患者様と真摯に向き合うことのできる作業療法士になりたいと思います。わからないことだらけですが、先輩方から沢山の事を学んで理想とする作業療法士になれるよう努力していきます。

千葉・柏リハビリテーション学院

浅見 有海 さん

私は以前にリハビリテーションの先生にお世話になり、身体的にも精神的にも支えてもらった経験から患者様に寄り添い、サポートができる作業療法士として働いていきたいと考えています。そのため今後は信頼されるような技術や態度を身につけ、患者様を支えられる作業療法士となれるように尽力して参ります。

千葉県立保健医療大学

岡野 愛 さん

長いようで一瞬だった激動の4年の間に、ご縁をいただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。今後も、人・作業・環境やマネジメントの視点を持ち、制度の狭間から誰も漏れ落ちず、誰もが社会参加の行いやすい健康的な社会を目指す専門家のような存在を目指し、精進して参ります。

千葉医療福祉専門学校

渡辺 美海 さん

あつという間の学生生活が終了し、4月から第1志望の病院で働けることに喜びを抱いております。知識がまだまだですが、働きながらたくさんの事を吸収し私自身が目指す作業療法士になりたいと思います。

帝京平成大学

本木 智也 さん

私が作業療法士になるにあたっての抱負は、多くの事に挑戦することです。1年目で分からない事が多くあり、リハビリの難しさを改めて感じると思います。そこで諦めてしまうのではなく、まずはやってみることが大切だと考えています。失敗を恐れず、作業療法士としての土台を作ることが出来るように頑張ります。

国際医療福祉大学

佐野 文哉 さん

「作業療法士の役割とは」これに関して、私は在学中の勉強を通して、医療職の中でもより「個性」に焦点を当てた専門職であるという考えに至りました。そしてその為には、患者様の話をよく聞くことが大切であると感じました。よって入職後も、まずは患者様との対話を大切に、日々の臨床に励みたいです。

植草学園大学

横内 美珠希 さん

作業療法士は『人』と関わる仕事であるため、患者様一人ひとりに応じたコミュニケーションの取り方を日々模索し、患者様と信頼関係を築いていきたいです。また、患者様のライフスタイルや性格など、『その人らしさ』を大切にしながら、患者様に合わせた作業の提供ができるように日々精進していきたいです。

令和5年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 臨時総会の報告 1

去る3月17日(日)10時より千葉県立保健医療大学 B111 教室にて令和5年度臨時総会が開催された。以下のとおり報告する。

議案書の公開と質問の受付：議案書をホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を3月11日(月)まで受け付け、3月12日(火)に質問とその回答を代議員にメールで送付した。回答内容は以下の通り。

【第2号議案についての質問・意見】

Q1 議案書2ページ「会員数が減少している」とあるが現時点での正会員と賛助会員の数、および1年前の数を指定してほしい。正会員の減少に関して、数年のトレンドか、年ごとの変動かを知りたい。その減少の要因について、どのように分析されているかを知りたい。「会員の状況を把握することにより…」という部分で、誰がどのように状況を把握する予定かを知りたい。

A1.

- 会員数の変動については下記の表を参照されたい。
- 表の2023年度は、3月12日現在で会費未納者が70名おり、年度末までに入金がない場合は会員資格喪失となり会員数が減る予定
- 協会員と士会員の突合作業の結果報告(協会より)、2024年2月時点では、
→県士会員1,333名、うち協会員1,224名、協会退会済み93名
千葉県所属の協会員1,980名、うち士会員1,216名、非士会員764名
今後、協会、士会からそれぞれへの加入の促しをおこなう予定
- OT協会の組織率低下も進んでいる状況で、2～3年前より特にその分析がなされ、未入会者の増加と、退会者では20代30代の女性で、結婚や出産、職種変え(作業療法士をやめてしまう)などの理由での退会が増している。
- 当士会の状況は、2020年から入会者数よりも退会者数が多い状況。入会者数が減っているのは、コロナ禍で研修会が開催されなかったことが発端かと考えている。退会者数が増については、通常の退会に加えて、会費未納者の退会手続きを定款通りに実施するようになったことが一因と考えている。
- 会員の入退会は事務局庶務部が対応している。その際のデータにより年齢・性別・領域、退会理由など(A2参照)を把握できると考えている。

Q2 Q1の状況把握に関連しての質問

県士会では会員の実態についてどこまでデータとして把握しているか士会がやろうとしている政治活動においても、基礎データの収集と分析、課題の抽出などは「陳情」をする上では必須の作業だと思いが、進捗と実施の見込みは如何。

A2. 現在、入会時に氏名、OT協会会員番号、生年月日、自宅住所、電話番号、メールアドレス、出身校名、勤務先情報、郵送物送付先を収集している。

勤務先の領域は以下の通り。

- 医療：総合病院 / リハビリテーション病院 / 精神科病院 / クリニックなど
- 介護：介護老人保健施設 / デイケア / デイサービス / 訪問リハビリテーション / 訪問看護ステーションなど
- 福祉：児童発達支援センター / 放課後等デイサービス / 就労移行支援事業所 / 生活介護事業所など
- 保健：保健所 / 地域包括支援センター / 精神保健福祉センター / 地方自治体など
- 教育：特別支援学校 / 教育委員会など
- 養成教育：
- 労働：障害者終了・生活支援センター / 障害者職業センター / ハローワークなど
- 司法：刑務所 / 医療刑務所 / 保護観察所など
- その他

ただし、上記項目は新規入会時にうかがうもので、過去に入会いただいている会員については、データベースへの入力項目に欠損がある。

Q3 4ページ 福利厚生部 新人会員オリエンテーションについて、昨年はどのように実施したか。次年度計画についても説明頂きたい。

A3 昨年、新人会員オリエンテーション未実施。理由は今年度部員の欠員が重なり、活動自体が困難となったため。次年度は活動実施のため最優先で部員の募集を行いたいと考えている。オリエンテーションについては今後の開催は対面開催でよいと考えている。

表：会員数の変動について

	会員数	入会者数	退会者数	補足
2018年	1,323	144	80	
2019年	1,364	129	89	
2020年	1,309	87	142	コロナ禍。会費未納者の退会手続き開始
2021年	1,304	101	112	
2022年	1,275	85	114	
2023年 (3月12日時点)	1,325	79	51	正会員 1,310 名(賛助会員 7 法人含む)、休会者 13 名、名誉会員 2 名

Q4 4～5ページ 調査部と制度対策委員会 調査部では、地域保健事業に関する調査を実施予定とあり、制度対策委員会の方では、「調査部と連携し会員の実態調査」とあるが、具体的な調査方法は如何。

A4-1 調査部での地域保健事業に関する調査について
目的：①全国の作業療法士に好事例を知ってもらい、活動の後押しとする。

②行政・地域包括等の多職種に作業療法の強みを知ってもらう。

③1700の市町村への担当者配置と作業療法士を活用。

時期：現在検討中

方法：協会から送られてきたアンケート URL を県内の協会員または県士会員へ郵送し、返答（Google form）を求める。役所や地域包括などの団体に訪問し、聞き取る

予算：調査部 資料印刷代、郵送料として134,000円（1400名分を想定）

A4-2 制度対策部での調査について

初夏～秋頃にグーグルフォームを活用し会員を対象に制度改正後の変化について行う予定。基本的に会議費のみ（グーグルフォームは無料）

Q5 9～10ページ 学術部（精神障害・老年期・発達障害委員会）研修では、対面開催を基本とし、ハイブリッド開催を希望したい。特に精神障害委員会については、研修会1回、企画会議であり、活動内容が少ないのではないかと、再考いただきたい。学会ワークショップ参加や実態調査のようなことも検討して欲しい。

A5 ここ数年、研修会参加者数が伸び悩み、広く多くの方にご参加頂けるように研修内容や広報活動を工夫しながらオンライン研修を開催してきた。会員のニーズにより応えられるよう、ご指摘いただいた事項についても検討させて頂く。

Q6 10ページ 東葛南部ブロック「作業療法啓発のための地域のイベント参加」とありますが、具体的なイベントが想定されているのであれば、教えて欲しい。

A6 来年度11月に開催される「ふなばし健康まつり」にブース出展を予定。出展内容は現在ブロック委員で検討中。

Q7 11ページ 東総ブロック「市町村・高校への挨拶回り」について既に取り組んでいるのか？それとも実施予定か教えて欲しい。

A7 今年度、市町村への挨拶回りと高校での授業を実施。市町村挨拶回りは、地域支援の窓口として作業療法士を配置できるようにする目的でブロック長の多田と数名の委員が直接出向た。ブロック長の多田が高校の授業を担当する機会があり、その中で作業療法の広報を行った。

Q8 12ページ 司法作業療法委員会 取り組みの現状について教えて欲しい。

A8 昨年12月より市原青年矯正センターに県士会主導で携わっている。支援内容について、機能向上作業は週半日2名、コグトレは隔週半日1名の関わりである。来年度以降も作業療法士としての作業内容や支援内容を検討しながら、支援に携わっていく予定。

Q9 収支予算書 経常収益では、前年度比で正会員費の増であり、「会員が減少している」という実態と齟齬があるようだが、精算方法については如何。また、研修会参加費が大幅な減だが、要因はなにか。

A9 経常収益には新規入会者・退会予定者も含んでいる。

Q10 収支予算書 経常費用では、会議費・交通費が大幅増額であり、諸謝金と賃借料が大幅減額だが要因は何か。負担金について、POS連絡協議会会費であれば1万円の問題ないのか。

A10 会議費増については、部局委員会の委員が、委嘱された県士会活動（集計作業、会計作業、研修会等の事前準備・当日運営、書類および記事の作成など）に携わった場合、1業務に対し1000円の会議費が委員1名あたり年間上限12000円支払われるものとするため（所属する委員長もしくは担当理事が認めた場合）。

交通費増については、対面活動を増やしていく方針であるので、移動が生じるため。

諸謝金は臨床実習指導者講習会の開催回数を減らしたため、約70万円ほど減額となった。

賃借料は変化なし。

ちばPOSの拠出金は、会計上の整理のため、その他の項目のちばPOSの口座で取り扱うことにした。

その他の負担金の1万円は「よんぱち」の会費。



令和5年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 臨時総会の報告3

総会当日、代議員31名（議決権行使書・委任状含む）が出席し、議長に宮崎代議員が選出され、第1号議案 千葉県作業療法士会組織図の変更について、第2号議案 令和6年度事業計画及び当初予算計画について審議され、すべての議案に対し賛成多数で可決承認された。

当日の質疑応答

1. 千葉県作業療法士会組織図の変更について

質問：子どもに関する委員会が多数あり活動が重複していると感じるが再編は検討しているか。

回答内容：発達障害委員会では研修会の企画等の学術活動が主だが、啓発活動や多職種との連携活動の増加に伴い、子ども連携委員会が設置された経緯がある。重複する内容もあるが、学術と地域連携で分けて活動している。

2. 令和6年度事業実施時期について

意見：決算が3月末なので円滑な会計業務のために、学会開催時期を検討してほしい。学会が多数開催されている6月や9～11月に開催してはどうか。

3. 入会者の増加への対策について

意見：入会者を増やすためには、研修会をコロナ前の水準に戻していくことが求められるが、各部委員会にて開催回数や形態、内容の一層の充実をはかっていただきたい。

回答：作業療法に必要な研修会のため、参加者確保に努めてほしい。広報活動の検討や直接の声掛けにご協力をお願いしたい。

回答：学術誌編集委員会では研修会を開催していなかったが、研究の側面から研修会を検討している。

質問：会員データの把握について、士会として「どのような課題があるか、どのデータが必要か、どう収集するか」について、現時点での見込みは如何。

回答：入会のwebフォームを開設した。入力項目を理事会で検討した。県士会のデータベースが不十分で、既存の会員の情報は不足している状況である。会員全体の状況把握は現状難しい。退会届のWeb化も検討しており、退会理由の収集にも努めていきたい。

質問：処遇改善をテーマとする場合、その情報の把握も必要ではないか。左記について何が求められているのか。退会理由に併せて、会員が県士会に何を求めているのかも収集しては如何。

回答：処遇改善は制度改正の大きな要望である。加算に関する実態の調査を予定している。その中で収入まで調査すべきかご意見をいただきたい。

意見：処遇改善という枠組みの中では収入は大切な項目である。実態を把握した方が良いのではないか。

回答：既存の会員へも研修会のアンケートや学会等で要望を確認したい。

回答：企画委員会では学生との交流を行える。学生にも県士会

への期待や取組みたい事等を聴取したい。

回答：2023年度退会者は64名。2,30歳代が多く、大会理由は転居・転職・異動が最も多い。一身上の都合、研修会をはじめ、県士会活動不参加であるという理由も一定数みられる。

4. 調査部と制度対策委員会の調査について

質問：調査部の調査目的をみると全国規模の取り組みを目指しているようだが、全国共通の調査なのか？具体的に何を調べるのか？調査部では紙資料の印刷や郵送で13万円以上予算計上しているが、制度対策委員会では予算をとっていないようだが問題ないのか？

回答：協会からのアンケートには、委員会から地域に関わるOTの把握ができていないと回答した。そのため、調査部では上記を把握するための一斉調査を計画している。この調査では、Googleフォームを使用し、回答URLの周知は紙ベースで郵送する。

回答：制度対策委員会の調査はGoogleフォームを活用するため費用は発生しない。周知方法はメール等を予定している。制度対策部は改定関連のためスピード感が求められることからメール等の周知方法を採択し、調査部は全体把握を優先するため全会員に回るように郵送を検討している。

5. 収支予算書の額について

質問：収入の部の明細と突合すると、「収入の部」のR6年度分会費が10,600,000円+新入会者会費が480,000円で計11,080,000円であり、収支予算書では11,008,000円になっているが如何。

回答：研修会収入記載が誤っている。正しくは11,008,000円である。

6. 研修会参加費について

質問：研修会参加費収入減については、どの部・委員会の費目が減になっているのか

回答：臨床実習指導者講習会収入が大幅減額となった。受講者数の減少が要因。前年度は開催数が3回、合計207名の参加だったが今年度は125名であった。加えて、臨床実習指導者講習会が各士会に加えて養成校協議体でも実施されるようになり、そちらに一定数が流れていることも受講者数減の一要因と推測する。今年度は、受講費が安価な県士会員の参加が多かった。今

令和5年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 臨時総会の報告4

回答：MTDLP 研修会開催が少なかったため若干収入減となっている。

意見：活動計画の報告では研修会增加していると認識しているが研修会収入が減少していることが理解できない。研修会収入は大きな財源のため必要であれば徴収してほしい。

意見：研修会については想定参加人数によって受講費を設定してほしい。受講費が高すぎると収益事業にみなされる可能性があるため留意いただきたい。

7. 事業費の賃借料について

質問：事業費の賃借料 154,000 円の減の要因は何か。

回答：千葉県立保健医療大学が使用できない場合は他の会場を利用することもあるため予算をとっている。今年度は学会の会場費がかからなかった。次年度の学会会場は未定だが、出来るだけ経費を抑えていきたい。

8. 総会の議事録の公開とニュースのペーパーレス化について

質問：総会議事録（質疑応答）は、過去どの範囲の対象者にどの程度まで公開していたか、今後どのようにしていくかについて教えてほしい

回答：これまでは県士会ニュースに掲載し、全会員へ配布してきた。ニュースをペーパーレスにした場合、ホームページのトップページにアクセスしやすいような工夫や掲載したことの周知が必要だが、公式 LINE やメールも登録数が伸び悩んでいるの

で、一案としては紙媒体の臨時号で会員へ届けることも考えられる。この場合年2回とすると15～20万円程度で可能。ニューズペーパーレス化に伴う、総会議事録の取扱いについては理事会で未検討のため、今後検討したい。

意見：県士会ニュースは会員限定の公開が良いのではないかと。

9. 臨床実習指導者講習会の予算について

質問：臨床実習指導者講習会の実地見学の旅費はどうするのか

回答：交通費も予算に含んでいる。現地へ伺う場合は日帰りの予定である。

10. 県士会として政治活動を行うことについて

意見：理事会の議論が不足していると感じる。他県士会の活動についても把握した方が良いのではないかと。県士会に連盟の窓口を設置したと記載があるが、窓口ではなく連絡担当と認識しているため誤解を招く記載は控えてほしい。政治活動はセンシティブなため慎重に議論すべき。一般会員にも情報発信をしたほうがよい。県士会が政治活動を主導して行うなら総会で議論すべき内容ではないかと。

回答：千葉県士会としての政治活動について改めて理事会で検討し次回以降の総会に提出する。

全ての議案について承認され、13時30分閉会となった。

(千葉県立保健医療大学 有川真弓)

研修会案内 (1)

研修会詳細は千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください

認知症対策委員会主催研修

【研修会名】令和6年度認知症リハビリテーション専門職研修（ビギナーコース）「認知症当事者へのインタビュー」

【日程】令和6年5月30日（木）19：00～20：30（受付：18：50～）

【開催方法】オンライン【参加費】無料【定員】30名

【研修会内容】「認知症当事者へのインタビュー」（※令和5年度のビギナーコースと同様）

【申し込み方法】グーグルフォームかQRコード <https://forms.gle/RRAVP4DtfRipvFN8>

【申し込み締め切り】令和6年5月1日（水）～5月26日（日）



認知症対策委員会主催研修

【研修会名】令和6年度 認知症リハビリテーション専門職研修 基礎コース

【日程】令和6年7月20日（土）13：00～17：30（予定）

【場所】オンライン+アーカイブ（動画）レポート【参加費】5000円【定員】40名

【研修会内容・講師】別紙プログラム参照（HPなど）

【申し込み方法】グーグルフォームかQRコード <https://forms.gle/8vvjm1VN8FxyzoMd7>

【申し込み締め切り】令和6年6月1日（土）～7月6日（土）



研修会案内 (2)

研修会詳細は千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください

東葛南部ブロック主催交流会

- 【研修会名】令和6年度 第1回 東葛南部ブロック主催交流会
- 【日程】令和6年6月23日(日)【時間】10:00～11:30(飲食自由)【開催方法】Zoom
- 【内容】千葉県内で活躍されている作業療法士や作業療法学生の方々との交流会
- 【司会進行】東葛南部ブロック委員
- 【申し込み方法】QRコードを読み取り、お申し込みください。
- 【申し込み締め切り】令和6年6月16日



県士会各部署の“イマ”をお知らせ

Activity Report

#1. 学術部 精神障害委員会

精神障害委員会主催研修会を開催しました!!

研修会名：精神科領域における認知症の方への作業療法 ～生活の中での視点を大切に～
日時：令和6年2月25日(日) 13時～
講師：岡野朋子先生(石郷岡病院 認知症病棟 作業療法士)
参加者：43名

今年度の学術部精神障害委員会は、石郷岡病院の岡野先生をお招きして「精神科領域における認知症の方への作業療法～生活の中での作業療法を大切に～」をテーマに、オンラインでの講義をいただきました。

講義では、「石郷岡病院のご紹介」、「認知症治療病棟の特徴」、「作業療法士の役割」、「認知症治療病棟における実際」というトピックで話が進められました。その中で「24時間の法則」の考えを説明いただき、作業療法の時間だけのアプローチではなく、日常生活そのものを社会生活改善に向けた作業療法の場となるように“生活丸ごとをコーディネート”することが必要だという話をいただきました。さらに、「病棟を小さな地域としてとらえる」という視点から、日常生活プログラム・集団OT・個別OTを軸としてアプローチされていることの説明をいただきました。グループディスカッションでは、「自分た

ちの実践を振り返る」というテーマで、日々の取り組みや悩み、困り事などについての意見交換が行われました。参加者の悩みや困りごとに対して、岡野先生から「取り組んでいることに正解はない。

日々患者さんの状況や変化に気付いて対応し、模索し続けることがOTの仕事」、「多職種との協働では、多職種同士が考え方を無理に統一する必要はない・職種の違いを生かし、どの職種がどう関わればいいのかを考えていくことが大切」とのお言葉をいただきました。

今回の参加者は43名で、全国から様々な領域の方の参加もあり、認知症の方への作業療法に対する関心の高さが伺えた研修会でありました。岡野先生の講義からも、より具体的でより実践的な話が多数伺え、参加者皆

さまの日々の実践の大きなヒントになったのではないかと感じます。講師の岡野先生並びに参加者の皆さまへ感謝申し上げます。

(学術部 精神障害委員会 宮脇佑太)



Activity Report

東葛南部ブロック主催研修会・交流会を開催しました!!

2023年12月9日に八千代リハビリテーション学院にて、「作業で語る事例報告」の著者でもある齋藤佑樹先生をお招きして研修を行いました。

今回は、オンライン対面のハイブリッドでの実施となりました。当日、現地は約20名、オンラインは約30名、延べ50人程度の方にご参加いただき、大盛況のうちに終了しました。研修では講義ののちにグループワークを行い、とても活発な議論が行われていました。事例報告の書き方については、なんとなく先輩から聞いたり、テンプレートのようなものを埋めたりという形が多いですが、今回の研修を通して、どのようなことを記載すればよいか、何を記載すれば作業療法らしい事例報告になるかなど、参加者の方は

学ぶことが出来たのではないかと思います。

東葛南部ブロックとしては、4年ぶりの対面での研修開催となりました。研修会の前後でも、皆さんの会話が絶えない状態で、あらためて顔を合わせて集まることの良さを感じました。また、学生の方も多く参加されており、若い方達にも県士会の活動に興味を持っていただく機会にもなったと感じております。東葛南部ブロックでは、今後も様々な催しを企画していきたいと思っています。今後とも宜しく願いいたします。



2024年2月3日(土)に、千葉県作業療法士会東葛南部ブロック主催「第3回東葛南部ブロック交流会」を開催しました。本交流会は第25回千葉県作業療法士学会直前ということもあり、学会長である多田賢吾先生をゲストにお招きし「作業療法の地域リハを未来へ」というテーマで行いました。

交流会には、若手、中堅、ベテランだけでなく学生の方々も参加いただきました。参加者人数が24名(含委員)と多くの方々と交流ができました。ブロックを越え県内のOT、OTSの皆様と繋がることができ委員一同大変うれしく思います。

交流会内容に関しては「学会長に地域リハのこと、聞いてみよう」、「実際の地域

リハ、どうなってる？」の2本立てで行いました。前者は多田先生への質問や意見交換を、後者ではグループでの意見交換を中心に行いました。地域作業療法への熱い想いを持つOT同士で現状や課題、地域リハの未来を語りました。熱い話ということもあり時間があっという間にすぎた感覚でした。参加されたOTSの皆様も感じてる疑問や不安などを解決できる時間になったのではないかと思います。

アンケート結果からも、好評価を頂き委員一同、お役に立てて嬉しい限りです。

今年度も東葛南部ブロックにおいて交流会を企画予定です。参加されるみな

さまのお役に立てるよう今後もブロック委員一同様々な企画していく所存です。ご興味がある方は県士会ニュースや、まめーる、その他SNSなどを是非、チェックしてください。共に東葛南部ブロックを盛り上げ共創していきましょう。2024年度も引き続き東葛南部ブロックをどうぞよろしくお願いいたします。

東葛南部ブロック委員 一同



東葛南部ブロック 部員募集!!

東葛南部ブロックでは、さらに色々な企画を行うため、今年度一緒に活動していただける方を募集します。ご興味がある方は、以下のURL、QRからアクセスできるフォームにご入力ください!

<https://forms.gle/ADtTyG77WxiGqcVdA>



体験型の研修会に参加すること

福祉用具対策委員会では実際に福祉用具を「体験」して、福祉用具についての「経験」を語り合える研修を開催しています。

1月に開催した福祉用具対策委員会主催の研修では、参加者の方からすてきな感想をいただきました。

感想を読んでいるうちに、ふと「体験」・「経験」という言葉を調べてみました。

みなさんは、「体験」と「経験」

の違いについて知っていますか。調べてみると、「体験」というのは、身をもって行うこと。「経験」というのは、実際に見たり聞いたり行ったりして、そこから身についたもの。とあります。

今回の研修のように実際に福祉用具を「体験」をしていただくことで、新たな発見や良し悪しを身をもって感じるすることができます。

また、他の参加者同士で福祉用具の「経験」について、意見交換を

することで、福祉用具の奥深さ、どんなものがあるのかなど興味を駆り立てられることにも繋がります。

福祉用具対策委員会では、これからも参加者のみなさんが「体験」をして、「経験」を語り合える研修会を開催していければと考えております。

今後ともよろしく申し上げます。

(委員 小貫祐介)

参加者からのコメント

今回のような対面での研修会の参加は久しぶりであったため、参加する前から楽しみにしておりました。実際に研修会で講師の方や福祉用具対策委員会の方の話の熱量を感じることができ、私にとっては臨床に対するモチベーションの向上に繋がりました。

また、今回のように実際に福祉用具に触れながら、受講生や講師の方と意見交換が行えたことは、WEB研修では味わえない対面でのメリットであり、理解を深めることに繋がりました。

特に、電動車いすに関しては不整地や段差昇降の走行、立位の姿勢変換など様々な機能を体験し、どのような対象者に適しているのか、どのようなニーズがあるのかなど、その場でディスカッションして今後の臨床に生かせるのではないかとという手応えも感じることができました。

今回の研修会で培った経験現場で生かしていきたいと思っております。

ISGem 訪問看護ステーション
児島宏希



小児 OT の交流会報告

こども連携委員会主催交流会「広げる繋がる人見知り小児 OT」～みんなでアレしませんか～がハイブリッド形式で2月17日に行われました。初めての交流会でしたが、ハイブリッド形式でチャレンジしてみたところ、北は柏市、南は君津市と遠方からの参加者もあり、大盛況に終わりました。

活発な意見交換や有益な情報共有ができ、大変有意義な時間となりました。今後も小児 OT 同士の繋がりが活発となるよう、より充実した委員会活動に努めていきます。

また、残念ながら参加できなかった皆様、是非次回にご期待ください。



第4回千葉中央ブロック交流会開催しました!!

2024年が明けて間もない2月9日、第4回目にして初となる対面での交流会を開催しました。顔の見える関係づくりを目的に、県外からも、また1年目の若手から20年越えのベテランまでご参加くださいました。

蘇我コミュニティーセンターでの第1部では、ペアでの30秒自己紹介&名刺交換を参加者全員コンプリートするまで繰り返し行い、笑い声があふれました。その後は臨床でのことについて、打ち解けた雰囲気ですぐに意見交換が行われました。

第2部はお店に場所を移し、2部からの参加者も合流して、他愛ないことから深いことまで語り合いました。委員も一参加者として夢中になり、全員そろっての写真を撮り忘れてしまったことが悔やまれます。

次回も、みなさまにお会いできることを心より楽しみにしております。



参加者より いただいた感想

- zoomとは違いリアルに皆さんと話ができ嬉しかった
- いろいろお話ができたので2部まで参加して良かった
- 勇気を出して参加してよかった
- とにかく楽しかったです

2024年度 第26回千葉県作業療法士学会 ブース・ワークショップ等申込み開始

ブース・ワークショップ等の参加団体・個人申込み開始!

みなさんの日々の取り組みやおススメの情報を広く伝える場にご利用ください!

第25回千葉県作業療法士学会は作業療法の原点を振り返り、広く社会を見渡して更なる一歩を踏み出す指針となる素晴らしいものでした。その素晴らしさを物語るように、次回、第26回千葉県作業療法士学会へのご要望や参加希望の声をいただいております。大変ありがたく思っております。第26回千葉県作業療法士学会は千葉中央ブロックが担当いたします。詳細は随時ご報告してまいります。

まずは、ブース・ワークショップ等の公募から開始します。詳しくは後日打合せを行いますので、参加の意思表示としてお申込みいただければ幸いです。

なお、演題募集につきましては夏ごろを予定しております。

申し込みQR



第26回千葉県作業療法士学会ブース・ワークショップ等申込み URL

<https://forms.gle/Zzivo1v7H11FQsvh9>



理事会報告

2023年度第10回理事会

2024年1月16日(火) 19:00～20:45 幕張キャンパス ハイブリッド開催

坂田、今野、松尾、有川、池滝、兼子、金平、五味、佐々木(啓)、多田、露崎、野口、安森、横山、大塚 計15名

【検討事項】

- 令和6年度活動計画・予算、令和5年度臨時総会について
各部署委員会から勘定項目等について財務部へ相談があり、財務部で適宜対応している。継続対応。財務からも各部署委員会は、予算締め作業をなるべく早急に実施してもらおうよう依頼した。
⇒ 次年度予算、今年度残金は期日通り(1/18)お願いしたい。活動計画は今後で良い。
- 令和6年能登半島地震災害支援におけるOT協会への支援金拠出について
OT協会が募集している支援金に寄付を行いたい。支援金の拠出額として13万円(おおよその県士会員数×100円)を検討した。また坂田会長からのお見舞い文についても確認された。
⇒ 承認
- 運転特設委員会の常設化について
2017年に3年の時限付きで運転特設委員会が設置されたが、これまで取り組んできた活動について継続的に実施していく必要があると判断した。またOT協会における「運転と作業療法委員会」についても「地域社会振興部地域事業支援課 運転と地域移動推進班」として常設班となった。これらを踏まえて、次年度以降も運転支援検討委員会として常設し、運転再開に至らなかった方への支援についても取り組みを行ってきたい。
⇒ 承認：地域連携部に属する形とする。
- 司法作業療法特設委員会設置について
令和5年度より市原青年矯正センターから県士会に対して作業療法士の派遣要請があり、県士会として支援可能な作業療法士の選出、日程調整、選出者の配置などで関わってきた。次年度以降の同センターでの司法作業療

法における支援を継続するにあたり、支援に関わっている作業療法士の情報共有の場の設定や県士会としてのバックアップ、司法作業療法領域への参画を目的とした勉強会の開催を目的に県士会としての取り組みとして、司法作業療法特設委員会を設置したいと考える。
⇒ 承認：特設委員会設置

【連絡事項】

- 本人ミーティングの動画活用報告とお礼について
- 卒業生向け県士会オリエンテーション(説明会)
開催日時：R6年の3/25,3/28 19:00-20:00の予定
- 協会員＝士会員に向けた会員の突合作業の進捗状況について
- コグトレ研修会開催報告について
1/6にコグトレ研修会を開催し、28名の参加となった。
- 千葉市健康推進課からのフレイル改善事業説明について
12月26日(火)15時、千葉市より3名の方が東京湾岸リハビリテーション病院に来院され、話を伺った。
⇒ 人材育成の研修の協力、訪問リハのOTに意見聴取していく。
- ちばPOS会議報告について
- 千葉県医師会新年会出席報告について
令和6年1月13日17時～、京成千葉中央駅、ホテルミラマレ「ローズルーム」にて開催された。
- 災害対策委員会研修会の中止になった経緯について
今回は中止とすることとなった。参加申込者には個別にお詫びの対応とする。

2023年度第11回理事会

2024年2月13日(火) 19:00～21:00 幕張キャンパス ハイブリッド開催

坂田、松尾、有川、兼子、金平、熊谷、五味、佐々木(啓)、多田、土居、露崎、野口、横山、大塚、古城 計15名

【検討事項】

- 令和6年度活動計画・予算、令和5年度臨時総会について
来年度の予算取得について、予算増額予定部局委員会について確認された。
⇒ 再検討
来年度より司法作業療法を追加、運転特設委員会から常設委員へ変更について、組織図の変更を第1号議案とすることが確認された。
- 休会申請者の審議について
証明書類がそろった休会申請者は15名。復帰者8名。⇒ 承認
協会＝士会の組織的な確立時には、協会が対応することとなるのが予想される。
- 強制退会者への未納分催促の対応について
現状は、3年間請求しているが、今後は未納年度に3回程度催促の内容を郵送し、翌年度に1度催促して終了する。
- 「第3次千葉県歯・口腔保健計画(試案)」に関する意見について
2月26日までに提出のため、20日までに案件を集約する。
- 全国脊髄損傷連合会 千葉県支部からの協働する活動内容の提案について
合同研修の提案を受け、福祉用具対策委員会(佐々木理事)で検討することとなった。
- 卒業式・入学式(県内養成校)の出席について
卒業式と入学式の出席担当者を調整した。坂田会長を主に出席可能な各理事を選出した。
- 千葉県作業療法士会「奨励賞」の授賞について
養成校7校/8校から卒業生が選出された。

【連絡事項】

- 福祉用具対策委員会主催の対面型研修会の実施報告について
- 今年度の生活期リハ実務者研修会実施報告について
2月4日：終日実施：38名(PT:21名、OT:8名、ST:9名)であった。
- 読みの障害の理解と支援(発達障害委員会)の実施報告について
2月8日：講師は高畑OT。参加者：40数名であった。
- 協会員と士会員の突合作業の結果報告(協会より)
県士会員の協会員人数、協会退会済み人数等の説明があった。今後、協会、士会からそれぞれへの加入の促しを行っていく予定。

第 25 回 千葉県 作業療法士学会 を 終 え て



令和6年3月3日(日)に、千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにて、第25回千葉県作業療法士学会が開催されました。当日はたくさんの方が訪れ、活発な議論が行われました。

基調講演では寺山久美子先生から、作業療法士の土台作りの苦労や挑戦の経験、作業療法士として大切にしてきたこと、また後輩へのメッセージをお話いただき、大変勇気づけられました。

基調講演では寺山久美子先生から、作業療法士の土台作りの苦労や挑戦の経験、作業療法士として大切にしてきたこと、また後輩へのメッセージをお話いただき、大変勇気づけられました。

千葉県作業療法士学会委員会 委員長 須藤崇行

ントをいただけたと思います。その他、ワークショップや展示、演題発表と内容を盛り込みましたので、ゆっくり議論をすることが難しかったのではないかと感じています。次回の学会では、改めてタイムスケジュール等を見直していきたいと思っています。

様々な修正・改善しなくてはいけない点がありましたが、おかげさまで4年ぶりの対面開催を無事に終えることが出来ました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

会長賞・学会賞・奨励賞の発表

会

長

賞

演題 32 病識の欠如がみられる若年多発性硬化症患者に対し、患者教育を行い復職に至った一例

帝京大学ちば総合医療センター 原田 里菜 様

20代の症例に対して外来にて、障害特性に合わせて自己認識を促せるようわかりやすい指標を提示しながら、復職に向け職業準備性ピラミッドに則り段階的に改善を図っていったこと、また、患者自ら上司や産業医に自身のことが説明できるように疾病指導を行ったことに加え、難病就職支援サポーターや家族など支援体制を整えて独り暮らしでの復職に至るまで、まさに自立支援を行った作業療法としての視点と目的、どのようにかかわったのか報告されていたことが大変素晴らしい発表でした。

学

会

長

賞

演題 7 生活ケアから始める作業を基盤とした実践を行った事例

セコメディック病院 塩田 将 様

学会長賞の選考は原点回帰というテーマに合わせ、作業へのこだわりがある演題に絞りました。その中でも塩田先生の演題は、できない作業を可能にするということだけではなく、作業を通して心や体が元気になっていくという内容でした。作業をアプローチに用いてクライアントを元気にしていく塩田先生の演題は非常に感銘を受けました。また、当日の発表では引き込まれる様な語り口調で、話がわかりやすかったのも選考理由の一つです。

委

員

長

賞

演題 37 重度感覚障害による上肢機能障害に対し、動触知覚弁別フィードバック型感覚代償アプローチを実施した一例

帝京大学ちば総合医療センター 篠原 真矢 様

会長賞は臨床経験10年までの方から選出、学会長賞は作業へのこだわりがある演題から選出しましたので、その方々以外から委員長賞を選出しました。基準は作業療法の論理性、明確なアウトカム、発展性、新規性とし、抄録から事前評価を行い、当日の発表内容から決めさせていただきました。発表の様子が素晴らしく、感覚障害に対するアプローチについて、今後に期待が持てる内容でしたので選ばせていただきました。

千葉県士会広報用 SNS アカウントの紹介

2025 年度、県士会ニュースは紙媒体での発行を終了し県士会ホームページへの掲載となります。
年 6 回のニュース発行時には LINE 公式アカウント等でご案内する予定です。
各種 SNS へのご登録を行っていただき、ペーパーレス化の際に混乱のないようにご準備ください。

LINE 公式アカウント

月 2 回を目安に研修会情報などを配信していきます。
現在 214 名の方に登録頂いています。皆様のご登録お待ちしております!!

友達追加の方法

友達の追加→QR コード
→右の QR コードを読み取る



友達の追加→ID 検索から以下の ID を入力

@442xxhdx

Facebook

研修会案内を中心に配信中。
各委員会担当者が配信をしているので投稿頻度も高めです。



M@mail

研修会案内だけでなく、災害時の安否確認にも活躍します。
是非登録を!!

